

一年間で採話した民話の一部を冊子にした

井原の民話 昔むかし

活動の目的

井原市が合併されてから民話本が一冊もできていない為、3つの語り部団体が合同で埋もれている民話を掘りおこし、一冊の民話本を作る事とした。頂いた助成金で、行政その他への更なる認知と成果を示す為に、この一年間で採話した民話の中から選んだ話を小冊子に作りあげる事を目的とした。

活動の内容及び経過

井原市内の各語りの会が、それぞれの公民館に依頼して「民話アンケート」を回覧してもらった。何人かの応答してくれた方々に直接会って話を聞いた。基本2人一組でレコーダーに録音しつつ、メモやアンケート用紙に記入して持ち帰った。レコーダーとメモ等から「字おこし」をして、共通の書き方に揃え編集会議で今回の小冊子に掲載する話を決定した。採話し、書きあげた内容を各語りの会専用のUSBに入れ、今回小冊子に掲載する話を全体USBに入力した。それらを紙面にして、編集委員が添削し、印刷会社に持ち込んだ。3回校正後、小冊子が完成した。

活動の成果・効果

成果としては、小冊子が完成した事である。そして、メンバーが採話して文章までもっていく事を学び、自信をもった事である。効果が出るのは、まだ少し時間がかかるが（コロナウイルスの影響で配るのが4月になる為）現在進行中の聞き取りをする際に、この小冊子を見てもらえば期待感がでて、進んで話を聞かせてくれるはずだ。又、全メンバーも小冊子が完成した事により、更に取り組みが活発になると考える。

今後の課題と問題点

今後の課題は、1人でも多くの方から採話する事である。そして、500ページ前後の「井原の民話」本を完成させる事だ。

問題点は、2年後の目標としている「井原の民話」本の完成だが、その印刷代をどう工面するか。行政に援助を求めているが、協力的ではない事が、最大の問題点である。



- 代表者：鈴木泉 ●所在地：井原市美星町三山
- TEL：0866-87-4636
- 設立年：2018年 ●メンバー数：31名